

クラス	TU107	担当教員	山口 正
テーマ	いま求められる教師（教育専門職）の力量と生き方を検討する		
著書・論文 研究課題等	(共著・責任編集)『身分なき教師たち』自費出版、1999年 (共著)『少年「5000万円」恐喝事件を読みひらく』フォーラム・A、2001年 (共著・山口編著)『教育に臨時はない／教師の良心をかけて』フォーラム・A、2005年 (共著)「いま地域で 父母住民教職員の共同の場を求めて」『人間と教育』51号、2006年 (共著)「愛知の教育を改革するための提言 Part II」2010年 (論文)「公正な教員採用選考の実現に何が必要なのか」『クレスコ』2008年12月号 (論文)「臨時教員の願いと公正な教員採用制度実現の課題」『教育』2010年4月号 (調査)「愛知県内の学級編制弾力化に関する調査研究」(各年調査公表)		
ゼミナール概要			
キーワード：教師 教育専門職 力量 生き方 自己理解 他者理解			
<p>○目的</p> <p>ゼミでは、自己体験と文献学習、調査活動をとおして、<いま求められる教師の専門的力量と生き方とは何か>を具体的に明らかにすることを目的とします。この学習をとおして、大学で学びたい専門職力量を各自が豊かに描いていってほしいと願っています。</p> <p>○内容</p> <p>課題1 自己体験から：私が出会った教師たち — その力量と生き方を検討する 課題2 文献学習から：いま注目される教師たち — その力量と生き方を検討する 課題3 調査活動から：私が注目した教師（たち） — その力量と生き方を検討する</p> <p>ゼミでは、上記の3つの課題に取り組み、最終的に学習成果を冊子にまとめます。</p> <p>○方法</p> <p>ゼミは、課題別に、ゼミ生からの報告・提案を基本にして運営していきます。受け身では、専門職としての力量も生き方も育ちません。</p> <p>課題3は、教師への訪問・見学・聞き取り調査を軸に、その力量と生き方を明らかにしていきます。具体的な授業計画は、ゼミ生と相談して決めていきます。</p> <p>必要に応じて、文献を紹介、調査活動の仕方も助言していきます。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>私は「教師教育」や「教育行政」の研究・教育をとおして、教師の力量形成や自己成長のあり方を専門的に追究しています。そのため、どうしても学校職場の方々との交流、学び合いは欠かせません。また、学校以外の分野（民間）で、教育や子育てにかかわっているひとたちとの出会いも、私が大切にしている学びの場です。</p> <p>ゼミでは、その様子・内容も紹介したいと考えています。</p> <p>私の自己紹介（活動紹介）は、http://www7b.biglobe.ne.jp/~tadasi/ をご覧ください。</p> <p>総合演習Ⅱでめざしたいのは、Ⅰ同様、学生たちの持ち味が多様に発揮される<学び合い>です。そのなかで、自分を見つめ（自己理解）、相手を受け入れる（他者理解）ことができたらと願っています。私も、みなさんをとおして、自分を見つめてみたいと思っています。</p> <p>半年のゼミ担当ですが、ゼミ交流（懇親会）も大切にしたい活動ですね。提案してください。</p> <p>多様なゼミ生が集うことを、楽しみにしています。</p>			